



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場会社名 森下仁丹株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4524 URL <https://www.jintan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 雄司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 森田 真司 TEL 06-6761-1131
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,468	△4.5	601	31.1	617	29.7	462	24.7
2019年3月期第3四半期	7,816	△1.7	459	2.7	476	4.9	370	35.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 818百万円 (370.4%) 2019年3月期第3四半期 173百万円 (△66.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	113.52	—
2019年3月期第3四半期	91.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	14,415	10,445	72.5
2019年3月期	14,121	9,771	69.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 10,445百万円 2019年3月期 9,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	37.50	37.50
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	37.50	37.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△0.9	380	△9.0	400	△11.0	300	△14.7	73.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3 Q	4,150,000株	2019年3月期	4,150,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3 Q	78,467株	2019年3月期	82,547株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3 Q	4,069,817株	2019年3月期3 Q	4,067,534株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、横ばい圏で推移しております。企業収益は高水準を維持しておりますが、製造業を中心に弱含んでおります。個人消費は、緩やかな持ち直しが続いておりますが、消費税率引き上げ後は駆け込み需要の反動で落ち込んでおります。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は食料・外食を中心に物流費、人件費等のコスト増を価格転嫁する動きがみられるものの、原油価格の下落に伴い伸び率が鈍化しております。

当社グループの属する業界も、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競争激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとし、引き続き積極的な営業活動を展開しております。当第3四半期連結累計期間においては、当社独自の機能性素材であるローズヒップの販売が前年同四半期と比べ増収となりましたが、機能性表示食品「ヘルスイド®シリーズ」や、プロバイオカプセルの受託の販売が前年同四半期と比べ減収となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,468百万円（前年同四半期比4.5%減）、営業利益601百万円（前年同四半期比31.1%増）、経常利益617百万円（前年同四半期比29.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益462百万円（前年同四半期比24.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より経営管理区分の変更に伴い、従来「その他」に区分しておりました子会社の一部について、「ヘルスケア事業」へ区分しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、当社独自の機能性素材であるローズヒップが前年同四半期と比べ増収となりましたが、機能性表示食品「ヘルスイド®シリーズ」や、メディケア商品が前年同四半期と比べ減収となり、売上高は、5,536百万円と前年同四半期と比べ364百万円の減収となりました。

損益面では、売上高が低調に推移するなか、効率的な費用投下に努めたこともあり、セグメント利益は、411百万円と前年同四半期と比べ4百万円の減益に留まりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、プロバイオカプセルの受託が前年同四半期と比べ減収となり、売上高は、1,860百万円と前年同四半期と比べ46百万円の減収となりました。

損益面では、効率的な研究開発投資に努めたこともあり、セグメント利益は、98百万円と前年同四半期と比べ52百万円の増益となりました。

③ その他

当セグメントにおきましては、売上高は、71百万円と前年同四半期と比べ63百万円の増収となりました。

損益面では、セグメント利益は、91百万円と前年同四半期と比べ94百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,594百万円となり、前事業年度末に比べ96百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の返済により現金及び預金が402百万円、仕掛品が47百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は8,820百万円となり、前事業年度末に比べ390百万円増加いたしました。これは主に株式の時価評価により投資有価証券が520百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、14,415百万円となり、前事業年度末に比べ293百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,979百万円となり、前事業年度末に比べ340百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が118百万円、賞与引当金が105百万円、未払法人税等が42百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は1,990百万円となり、前事業年度末に比べ40百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が250百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、3,969百万円となり、前事業年度末に比べ380百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は10,445百万円となり、前事業年度末に比べ673百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が357百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は72.5%（前事業年度末は69.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,293	1,890
受取手形及び売掛金	1,634	1,823
商品及び製品	713	793
仕掛品	455	407
原材料及び貯蔵品	499	533
その他	106	157
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	5,691	5,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,804	1,737
機械装置及び運搬具（純額）	970	822
土地	2,217	2,217
建設仮勘定	17	59
その他（純額）	347	340
有形固定資産合計	5,358	5,178
無形固定資産		
投資その他の資産	271	322
投資有価証券	2,735	3,255
その他	65	63
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,800	3,319
固定資産合計	8,430	8,820
資産合計	14,121	14,415

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	821	819
1年内返済予定の長期借入金	334	334
未払法人税等	96	54
賞与引当金	191	86
役員退職慰労引当金	118	—
返品調整引当金	41	32
売上割戻引当金	21	32
設備関係支払手形	33	57
その他	661	562
流動負債合計	2,319	1,979
固定負債		
長期借入金	860	609
繰延税金負債	557	767
退職給付に係る負債	576	564
その他	36	49
固定負債合計	2,030	1,990
負債合計	4,350	3,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	963	965
利益剰余金	4,479	4,788
自己株式	△139	△132
株主資本合計	8,841	9,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	928	1,285
退職給付に係る調整累計額	1	0
その他の包括利益累計額合計	930	1,286
純資産合計	9,771	10,445
負債純資産合計	14,121	14,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	7,816	7,468
売上原価	3,696	3,499
売上総利益	4,120	3,968
販売費及び一般管理費	3,661	3,366
営業利益	459	601
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	25	21
その他	3	3
営業外収益合計	28	27
営業外費用		
支払利息	7	6
その他	3	4
営業外費用合計	10	11
経常利益	476	617
税金等調整前四半期純利益	476	617
法人税、住民税及び事業税	57	101
法人税等調整額	48	54
法人税等合計	106	155
四半期純利益	370	462
親会社株主に帰属する四半期純利益	370	462

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	370	462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△194	357
退職給付に係る調整額	△2	△1
その他の包括利益合計	△196	356
四半期包括利益	173	818
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173	818

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,900	1,907	7,808	8	7,816	—	7,816
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,900	1,907	7,808	8	7,816	—	7,816
セグメント利益 又は損失(△)	415	46	461	△2	459	—	459

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,536	1,860	7,396	71	7,468	—	7,468
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,536	1,860	7,396	71	7,468	—	7,468
セグメント利益	411	98	510	91	601	—	601

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営管理区分の変更に伴い、従来「その他」に区分しておりました子会社の一部について、「ヘルスケア事業」へ区分しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。